

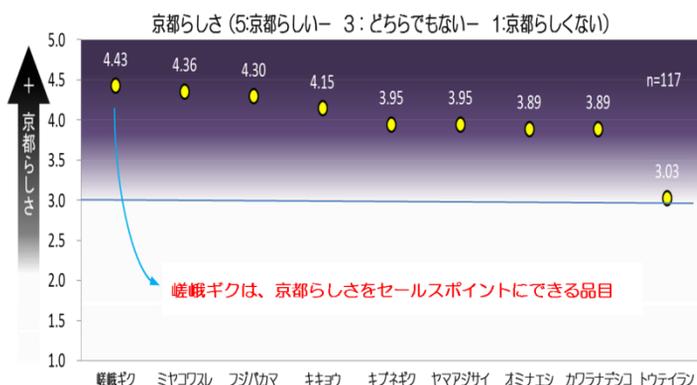
嵯峨ギクの小型化技術を開発 (農林センター)

- ・「京都らしい花」として消費者から高い評価が得られた嵯峨ギク
- ・嵯峨ギクを寄せ植え材料として活用するため小型化技術を開発

*「京都らしい花」とは、名称が京都に関連がある、京都の伝統行事、祭事、来歴に由来している品目

(1) 京都花物語品目9品目について京都らしさの印象を調査(23年)

アンケート調査方法: 実物大に加工した鉢物写真を提示 ...4号鉢(直径12cm)



京都らしさのポイントが高い
嵯峨ギクの鉢物について

消費者は

草丈は30cm、花数は10個程度が良い

関係者(小売、生花市場等)は

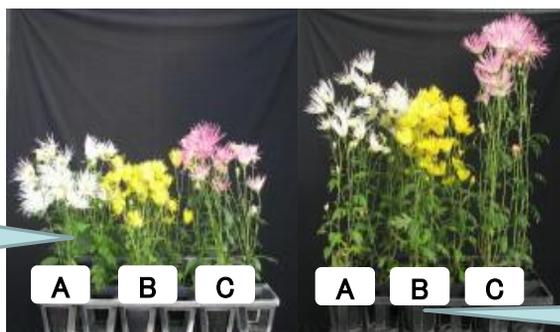
寄せ植え用途(苗物生産)向けの商品を要望

(2) 寄せ植え用途向けに、嵯峨ギク小型化技術を開発(24~25年)

8月上旬~8月下旬の挿し木、摘心を組み合わせることで様々な草姿に仕上がる

関係者から評価の高かった
寄せ植え用途向けの栽培方法

鉢の寄せ植えに向く
(草丈20cm、花数15個)



「C」のように草丈の
伸びやすい品種は挿
し木時期を遅らせる

花壇などの寄せ植えに向く
(草丈35cm、花数15個)

(注) 同じアルファベットは同一品種

挿し木: 8月下旬
(無摘心)

挿し木: 8月上旬
摘心1回(9月上旬)

- ・嵯峨ギクは、京都らしさをセールスポイントにできる品目
- ・鉢物だけでなく、苗物(寄せ植え材料)としての需要が期待

- ・嵯峨ギクは、挿し木や摘心時期と品種の組み合わせにより草丈20~50cm、花数10~20個の異なる草姿に仕上がります。
- ・低温による葉の黄化を防ぐため、10月以降は保温が必要です。